

< ゲンキル服用後の温度変化検証レポート (20200406) >

2020年04月06日

サプリメント“ゲンキル”1袋 (8 g) を白湯にて服用後の右足甲の温度変化を5分毎計測し検証する。

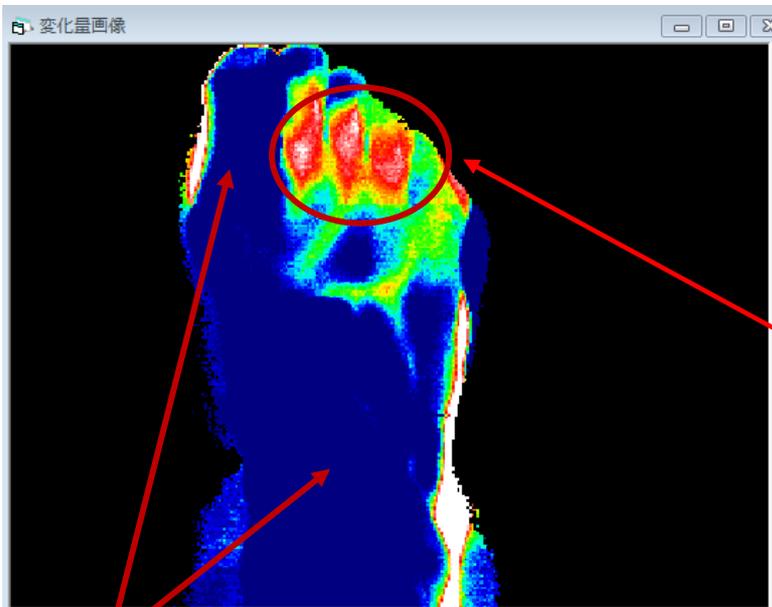
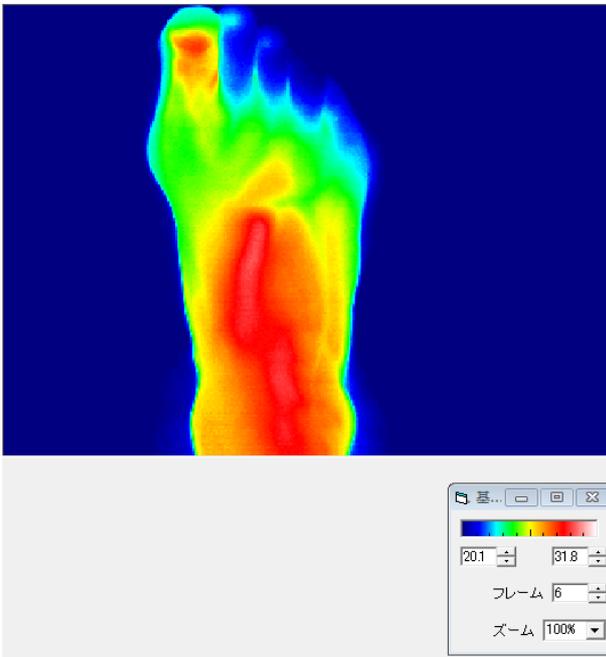
温度変化測定には医療用サーモグラフィー (700ME) を使用し、解析ソフトは脳神経外科手術に活用のTVS7RDを用いた。

結果、服用後25分後に、低い温度部位にて大きく温度上昇が確認できた。

< 計測風景 >



< 温度差解析 >



このエリア（部位）で大きく温度変化が観られます。温度上昇幅は2.6℃

温度に変化のない部位は青色表現とする設定

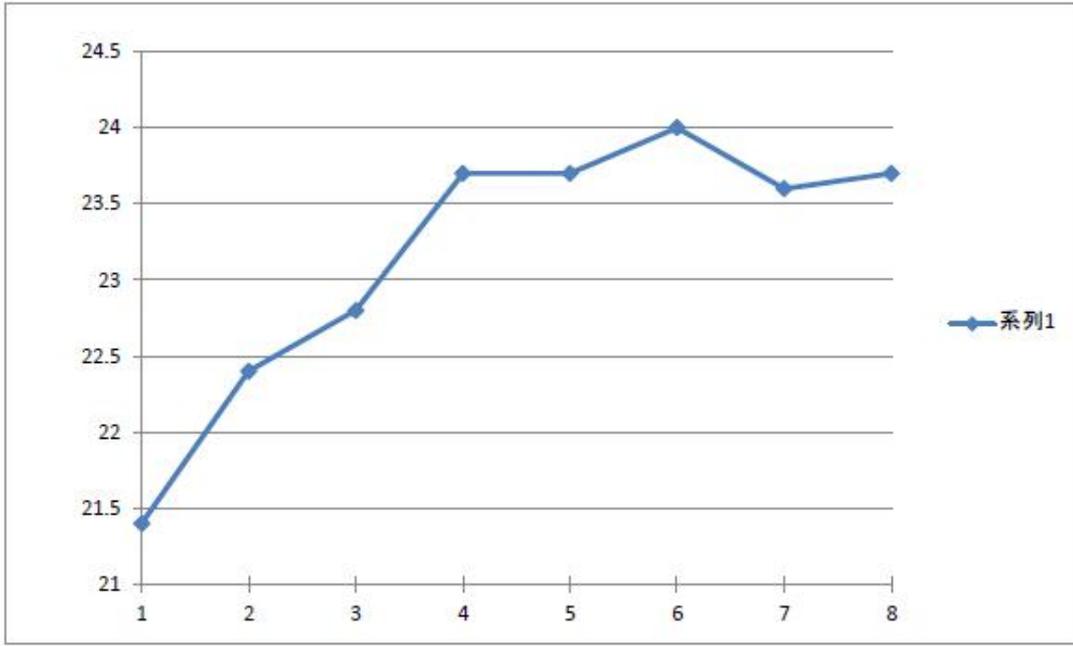
上記画像は5分後の温度画像から25分後の温度画像を差分解析した温度画像。25分後に、どの部位に温度変化が表れるかを解析したもので、分かりやすいように温度に変化ない箇所は青色とする設定とした。

右足人差し指、中指薬指、小指エリアで温度の上昇変化が顕著に確認できる。温度上昇は、座標 (x 122 y 43 , 9x9) 最大で2.6℃の上昇が確認された。
(服用後から≒25分後)

1	29.4	調整
2	28.3	調整
3	24.7	調整
4	22.2	調整
0	21.4	開始
5	22.4	5分後
10	22.8	10分後
15	23.7	15分後
20	23.7	20分後
25	24	25分後
30	23.6	30分後
35	23.7	35分後

温度変化分
1.00
0.40
0.90
0.00
0.30
-0.40
0.10

25分後の変化分: 2.6 度



座標 x 122 y 43 , 9x9

試飲前
)

試飲後 (温度変化の無い個所は青色)

